

掛川お茶大使 &amp; 日本茶インストラクター

# 吉岡亜衣加の お茶の間通信



前回、山東茶業組合さんが受賞された際には私も褒賞授与式に出席させていただき、産地賞の優勝旗を受け取るという大役を授けられました。



その時、山東茶業組合の皆さんと一緒に記念撮影もしました。



私も掛川お茶大使として、この素晴らしい掛川茶をこれからもPRしていきたいと思っております。

## 祝！農林水産大臣賞&産地賞 掛川茶の素晴らしさを改めて実感しました

だんだんと涼しい日が多くなり、秋を感じるようになってきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。さて、今回はとてもうれしいご報告です。

8月23日から26日の4日間にわたり、京都府宇治市にて第76回全国茶品評会の審査が行われました。その結果、なんと深蒸し煎茶の部において最高位である1等1席農林水産大臣賞を山東茶業組合さんが受賞されました！山東茶業組合さんは全国茶品評会では5年ぶり、6回目の大臣賞受賞となります。以前受賞された際に授賞式や祝賀会などにも出席させていただき、私自身も間近で組合の皆さんのお茶に対する真摯

な姿や、温かなお人柄を感じておりました。山東茶業組合の皆さんの、日々の努力と結束力がこの受賞につながったのだと思います。本当におめでとうございませう！

そして掛川市から出品されたお茶が多数上位入賞という大変優秀な成績を収めて、掛川市は産地賞を受賞することができました。品評会には全国各地の茶工場が製造されたお茶が出品され、審査員が厳しい目でお茶の品質を鑑定していきます。それにより一等級、二等級、三等級、等外とランクがつけられていきます。産地賞というのはその地域全体のお茶の質が良くなければ決して受賞することのできない難しい賞ですが、全国茶品評会深

蒸し煎茶の部において、掛川市は全国最多の通算24回目の受賞というところで、これはすごいことです！

深蒸し煎茶の部において、審査では「上位から中位にかけては、外観・内質ともに深蒸し煎茶の優れた特徴が際立つ優れたものが揃い、出品者の熱意と栽培・製造技術の高さが伺えました」という評価でした。農家の皆さんやお茶関係者の皆さんが切磋琢磨し、日頃からのお茶に対する情熱や愛情がこの受賞に結びついたのだと思います。

このように素晴らしい掛川のお茶をこんなにも身近で感じられ、当たり前のように日々飲むことができているなんて本当にぜひいたくたなあと改めて感じております。私も掛川お茶大使としてますます胸を張って、掛川茶をPRしていきたいと思っております。本当におめでとうございませう。